

科目名(副題)	開講年次(セメスター)	単位	担当者名
日本語を学ぶ 言語と言語政策	2～4年次秋学期 (4・6・8セメスター)	2	酒井 恵美子
科目ナンバリング			
Z1-JLE-201-J			
授業概要・目的			
<p>皆さんは毎日日本語を使って生活していると思います。でも、自分の使っている日本語についてどのくらい知っているでしょうか。この講義では、毎日使っている日本語について科学的に考えてみたいと思います。今学期は多様な日本語の世界とその制限について考えてみたいと思います。日本語には様々な姿があります。方言、若者言葉、キャンパス日本語、毎日これらの言葉は生産され、一方で消滅しています。そして、それらのことばの中には言葉としては使用されているにもかかわらず、言葉の乱れとして制限されているものもあります。その中から「外来語」「ら抜き言葉」「差別語」と呼ばれているものを取り上げてみたいと思います。日本語の音声学、音韻論、形態音韻論、文法論、語彙論、意味論などについて概観しながら、どこかで誰かが決めた日本語を対象とするのではなく、皆さん自身の日本語を分析しながら考えます。グループの活動も取り入れて講義を進める予定ですので、積極的に参加してください。</p>			
学修到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> <li>日本語学の各研究分野の対象と目的、研究方法を理解する。</li> <li>身の回りの言語事象を観察し、疑問点について考察できる。</li> </ul>			
授業方法			
<p>【面接授業(授業はすべて対面で行う)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>講義の前にクイズなどで、自己の言語を内省する。</li> <li>取り上げたテーマについての基本的な知識を得、問題点を理解する。</li> <li>いくつかのテーマについて分析を行い、意見をまとめ、レポートを作成する。</li> </ul>			
活用される授業方法			
成績評価方法・基準			
<p>課題・レポート (60%) 平常点 (40%)</p>			
教科書・教材・参考文献 等			
<p>【教科書・教材】 プリントを配布します。 【参考文献】 荻野綱男「現代日本語学入門 改訂版」明治書院 2018</p>			
質問への対応(オフィスアワー等)			
講義中、およびオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーの時間に質問を希望する人はあらかじめメールにより連絡してください。			
履修者へのコメント			
<p>講義では日本語学の各分野を網羅的に扱うことはできませんが、特定の分野については実際の分析を通じて研究方法を理解し、実際に分析します。また、グループで意見を交換しながら日本語についての考えを深めていきたいと思います。講義ではグループ活動を行います。欠席が多い学生はグループでの活動に参加できないこともあります。</p>			

## 事前事後学習

テーマごとにレポートを提出してもらいますので、かなりの事前事後の学習（平均して1時間程度、レポート作成には5時間程度）が必要です。

科目名(副題)		開講年次(セメスター)	単位	担当者名
日本語を学ぶ 言語と言語政策		2～4年次秋学期 (4・6・8セメスター)	2	酒井 恵美子
授業計画				
No.	項目	内容		
1	オリエンテーション	日本語について知っていますか。		
2	多様な日本語 1	地域差と言語変種		
3	多様な日本語 2	日本語の位相		
4	ら抜き言葉とは 1	ら抜き言葉の歴史		
5	ら抜き言葉とは 2	ら抜き言葉はなぜ生まれたのか		
6	ら抜き言葉とは 3	ら抜き言葉は必要か		
7	トピック	言葉は変化する 日本語の歴史		
8	日本語の語種と外来語	日本語の変化と語種		
9	外来語の制限と言いかえ	言いかえ案を試してみよう		
10	外来語は必要ないのか	外来語と外来語の意味		
11	外来語の意味分析	どうして言葉は生まれるのか		
12	トピック	嫌いな言葉がありますか。		
13	差別語とは何か	差別語の歴史		
14	言語の変化と統制	言語政策は何のためにあるのか		
15	まとめ	この学期でやったこと		